

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

梅雨明けが待たれ、いよいよ本格的な夏の訪れが近づいて参りました。会員の皆様には日頃より本会に多大なるご支援、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、6月24日（金）に千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会研究大会並びに定期総会を、御宿町立御宿中学校にて開催することができました。多くの来賓の方々や各支部の先生方のご臨席のもと、盛会裏に執り行うことができました。



天野会長の挨拶

定期総会から

定期総会では、平成27年度活動報告、決算・会計監査報告、平成28年度活動方針案及び予算案に関する件、役員選出などの報告・議事が進められ、大会宣言により締めくくられました。今年度の感謝状贈呈者は下記の方です。（順不同・敬称略）

習志野	稲葉 秀一	印旛	品地 敏明	印旛	廣瀬 正臣	印旛	奴賀 陽子
印旛	黒澤 強	安房	岡本 浩	千葉	青山 悦子	千葉	磯野 和美
船橋	小倉 恵津子	船橋	吉村 秀樹	夷隅	渡邊 裕子		

また、今年度より全国大会や全国作品展に入賞する作品の指導をされた指導者に対し、「優秀指導者表彰」が贈られることになりました。受賞された方は、下記の方です。（敬称略）

濱田 勝久（千葉市立おゆみ野南中学校）	萬崎 保子（千葉市立轟町中学校）
細川 佐和子（千葉市立小中台中学校）	千坂 佳奈（市川市立第八中学校）
渡辺 秀子（成田市立遠山中学校）	後藤 恒治（一宮町立一宮中学校）
渡邊 恵子（勝浦市立北中学校）	藤平 尚子（御宿町立御宿中学校）
岸 教男（千葉県教育庁教育振興部）	

公開授業から

公開授業は、夷隅支部研究主題「社会環境の変化に対応し、生活を工夫し創造する生徒を育む学習指導の在り方」のもと、授業が展開されました。

技術分野、家庭分野それぞれの研究発表後、千葉県教育庁東上総教育事務所山武分室指導主事の市原 喜郎先生、千葉市教育委員会学校教育指導課指導主事 豊川ますみ先生よりご指導、ご講評を頂きました。

技術分野＜授業者 磯野 洋之 先生（御宿町立御宿中学校）＞

技術分野では、地域の伝統技術「建具」の技術である「組子」による接合を体験し、技術が生活の向上や産業の伝承と発展に果たしている役割を考えさせる授業が行われた。授業者が長年に渡り、地域の職人さんと連携をとり、題材を開発したものである。材料の特徴や性質を学べ、短時間で非常に完成度の高い作品を製作でき、生徒が成就感を味わい、更にキャリア教育にもつながる興味深い授業が展開された。

家庭分野＜授業者 藤平 尚子 先生（御宿町立御宿中学校）＞

家庭分野では、「衣生活・住生活と自立」の「家族の安全を考えた室内環境を知り、快適な住まいを工夫できること」に基づいて授業が行われた。地震による被害について映像を使って知り、安全な家具の配置を教具を使って考える内容であった。アクティブラーニングの視点から、これまで「楽で、便利なものを考える」ことから、「より安全に、自立へ」と向かったカリキュラムをマネジメントされた内容であった。



技術分野（材料と加工に関する技術）



家庭分野（衣生活・住生活と自立）



——記念講演 「技術・家庭科の充実のために」 ——秀明大学教授 倉持眞由美 様 ——

今年度は、秀明大学 教授 倉持 眞由美 様をお招きして、「技術・家庭科の充実のために」の演題のもと、ご講演頂きました。講演では、今後の展望とともに、文部科学省の教育課程部会 家庭、技術・家庭ワーキンググループから出された改定の方向性にも触れられ、とても興味深いお話しでした。



——作品展から——

今年の作品展も、県内より優秀な作品を集め、開催することができました。どの作品も創意工夫を凝らし、素晴らしい作品でしたが、その中で次の作品が平成29年1月21日（土）、22日（日）に行われる第17回全国中学生創造ものづくり教育フェア作品展や関ブロ埼玉大会に出展することになりました。（敬称略）

教育長賞 「技術分野」 「オリジナル小物入れ」 一宮町立一宮中学校 金尾 健人
 「家庭分野」 「乳幼児のために」 千葉市立小中台中学校 竹原明日果
 （リュック型布絵本 脱がせやすいベビーベスト 防災頭巾）



振興会長賞

技術	南房総市立三芳中学校 稲葉 美里	家庭	成田市立遠山中学校 増田由里奈
	鴨川市立鴨川中学校 金綱 海都		八千代市立勝田台中学校 船越 美都
			千葉市立末広中学校 菊池 美羽

以上7作品が全国中学生創造ものづくり教育フェア 生徒作品展出品

技術	木更津市立波岡中学校 下山 美空	家庭	千葉市立小中台中学校 佐藤愛美璃
	千葉市立末広中学校 茶田 陽咲		佐倉市立志津中学校 金澤 優美
	袖ヶ浦市立昭和中学校 内川 寛人		千葉市立草野中学校 堤 楓華

以上6作品が関ブロ埼玉大会 生徒作品展出品

——お知らせ——

- ☆ 関ブロ埼玉大会が平成28年10月13日（木）・14日（金）に行われます。ご案内など詳細は後日送付されますが、より多くの先生方のご参加をお願いいたします。
- ☆ 第13回千葉県中学生創造ものづくり教育フェアが11月12日（土）に千葉県総合教育センターで開催されます。本年度も多くの学校の参加をよろしくをお願いいたします。
- ☆ 千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会は昭和22年10月に設立され、今年度70周年を迎えます。70周年記念事業として、記念式典の実施（平成29年1月7日を予定）、本会功労者への感謝状贈呈、記念誌の発行を計画しております。様々な場面でご協力をいただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

——編集後記——

今年も多くの方のご協力により、部会だより第一号を発行することができました。今後も年3回の部会だよりを発行し、各地の作品展や研究大会などのお知らせをしたいと思います。本年度も、よろしくお願いいたします。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科部会 広報部 千葉市立白井中学校 北島 啓行》

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

今年も、早いもので残すところあとわずかになりました。会員の皆様には、日頃より本会に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。

——第13回千葉県中学校創造ものづくり教育フェアから——

11月12日(土)に県総合教育センターにて千葉県中学生創造ものづくり教育フェアが開催されました。当日は、多数のご来賓をお迎えし、盛大に競技が行われました。会場には早朝より多数の生徒・保護者が来場し賑わいました。なお、詳細についてはGI☆KA CHIBA Web ページもご覧ください。

〈それぞれの部門の結果〉 (敬称略)

「ものづくり」部門 — 木工の技

- 1位 成田市立久住中学校 藤山 拓巳 (県知事賞・全国大会出場権獲得)
 2位 成田市立久住中学校 石橋 晴香 (木材振興会長賞)
 3位 船橋市立行田中学校 高橋 和匡 (木材振興会長賞)

「ものづくり」部門—アイデアバッグ

☆上位2名が関東大会に出場

- 1位 御宿町立御宿中学校 関 昭太 (県知事賞)
 2位 千葉市立轟町中学校 河合 和果 (県会長賞)
 3位 成田市立玉造中学校 小野村 愛乃 (県会長賞)

「ものづくり」部門—お弁当コンクール ☆第1位が全国推薦へ

- 1位 千葉市立蘇我中学校 (飯野 真悠子・速水 美優・高橋 桃音) (県知事賞)
 2位 山武市立蓮沼中学校 (秋葉 湧介・加瀬 哲也・北島 柊) (県会長賞)
 3位 勝浦市立北中学校 (齋藤 知哉・市川 陸斗・中村 隼) (県会長賞)
 [キッコーマンおいしい記憶賞] 千葉市立蘇我中学校 (鎌田 萌・男鹿 彩花)
 [学校給食会理事賞] 千葉市立打瀬中学校 (中川 玲壮・池田 健人・小川 輝)
 [審査員特別賞] 四街道市立四街道西中学校 (小坂 佐紀・織田 愛梨)
 [東京ガス エコ・クッキング賞] 千葉市立蘇我中学校 (大木 優佳・杉山 初音・藤崎 朱々)
 ☆学校賞 木更津市立太田中学校



「ロボットコンテスト」部門 ☆各部門1位、2位、特別賞の3チームが関東大会出場

- ロボコン大賞 習志野市立第一中学校 "疾風バージョン3.5" (県知事賞・応用部門)
 基礎部門 1位 流山市立東深井中学校 "チョコチップ" (関東大会出場)
 2位 習志野市立第一中学校 "FT" (関東大会出場)
 特別賞 佐倉市立上志津中学校 "HONDA" (関東大会出場)
 活用部門 1位 千葉大学教育学部附属中学校 "元1-B" (関東大会出場)
 2位 流山市立東深井中学校 "花松井" (関東大会出場)
 特別賞 習志野市立第一中学校 "ガーディアン・リベンジ" (関東大会出場)
 応用部門 1位 千葉市立おゆみ野南中学校 "Gale Phoenix" (関東大会出場)
 2位 千葉市立おゆみ野南中学校 "フミガータス" (関東大会出場)
 特別賞 習志野市立第一中学校 "疾風バージョン3.5" (関東大会出場)



〈木工の技〉



〈アイデアバッグ〉



〈お弁当コンクール〉



〈ロボットコンテスト〉

——第55回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会より——

10月13日(木)～14日(金)にかけて、関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 埼玉大会が研究主題、「次代を担い、社会を生き抜く力を育む学習指導の研究」のもと、9分科会に分かれて開催されました。



——第1分科会の様子——

当日の授業は、材料と加工に関する技術において、製作体験やこれまでの学びと結びつけ、問題を解決するための作品を設計・製作を進める授業でした。丈夫にするための構造や使いやすくするための機能について、様々な学習教具から考え、設計に活かす授業でした。教室全体に実物を使った学習資料が掲示され、指導案に付属されたCDにも、我々が現場で使える様々な資料が添付されており、興味深いものでした。

提案発表でも、授業者、ワークシート、生徒への言葉がけの3つのブースに別れ、ワークショップ形式に研究発表をするなど、斬新なものでした。



<授業の様子>



<実物の掲示物>



<木材見本>



<ワークショップの様子>

——指導講評より——

全体会では、文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官の上野 耕史先生、筒井 恭子先生の指導講評がありました。今後、社会に開かれた教育課程やより良い社会作りを目指すための新学習指導要領の改訂の論点整理についての説明がなされました。IoT、ビックデータ、人工知能、ロボット、ディープラーニングといった現代の産業構造や就業構造の変化に対応すべく、次代を担い、社会を生き抜くために学校教育として自立、協働、新たな価値の創造のために、何をすべきかという講演でした。



——関ブロ・埼玉大会の作品展より——



——編集後記——

第2号は、千葉県中学校創造ものづくりフェア、関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 埼玉大会の内容を掲載しました。第3号では、各地の作品展や本年度の活動内容、来年度の研究計画などを掲載したいと考えております。新しい情報やご意見などありましたら、広報部までお知らせいただければ幸いです。

平成29年3月1日

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

今年度も、早いもので残すところあとわずかになりました。会員の皆様には、日頃より本会に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。

——平成28年度の活動を振り返って——

千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会会長 天野 新太郎

平成28年度もいよいよ最終の月を残すのみとなり、万全とは言えないまでも滞りなく各事業や研究を進めることが出来ました。これも本会を支えてくださった皆様の暖かいご支援のお陰と深く感謝いたします。

さて、本年度も「研究活動の推進と成果の累積に努める」「小学校家庭科及び中学校技術・家庭科の関連を図る」「研究・研修活動の推進を図る」「組織を強化し、機能を円滑にする」の4本の柱で、研究を進めてまいりました。本年度の重点として、平成30年度に成田市立公津の杜小学校を会場に開催される「第34回関東甲信越地区小学校家庭科教育研究会千葉大会」に向けた、研究組織の拡充と小中の連携を進めて参りました。昭和41年に小中との合同研究会となり50年の月日が流れております。これを機に小中の連携をさらに深め、次世代を担う子供たちのために共に研究を進められればと願っています。

また、御宿町立御宿中学校にて開催された定期総会から優秀指導者表彰を新設し、8名の先生方を表彰させていただきました。この賞は、全国フェア等の大規模大会で優秀な成績を収めた児童生徒を、熱心にご指導いただいた功績を称えるために新設した賞で、本年度もたくさんの生徒たちが全国フェアで素晴らしい活躍を見せてくれました。今後ご支援、ご協力をお願いいたします

最後になりますが、70周年記念事業の開催にあたり、OB、現職を交えた数多くの皆様に参加、協賛いただき誠にありがとうございました。おかげさまで記念誌の発刊、講演会、記念式典を無事終えることが出来ました。今後、次回の80周年に向けて研究を積み重ねて参りますので、今回同様お力添えをいただけますようお願い申し上げます。

——全国中学生創造ものづくり教育フェアより——

第17回全国中学生創造ものづくり教育フェアが1月21日(土)、22日(日)の両日、有明TOC展示場と女子栄養大学を会場として開催されました。千葉県からも、優秀作品が出品され、素晴らしい成績を収めました。

つくば科学万博記念財団理事長賞	日本産業技術教育学会会長賞	特許庁長官賞
		
一宮町立一宮中学校 金尾 健人 さん (2年) オリジナル小物入れ	一宮町立一宮中学校 山下 麗奈 さん (2年) 本立て	千葉市立小中台中学校 竹原 明日果 さん (2年) 「布絵本・ベスト・防災頭巾」

この他、木工の技で藤山 拓巳さん(成田市立久住中学校)、お弁当コンクールで 飯野 真悠子さん・高橋 桃音さん(千葉市立蘇我中学校)が出場しました。

——創立70周年を迎えて——

今年度、千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会は創立70周年を迎えることになり、新春の1月7日（土）に、京成ホテルミラマーレを会場に、盛大に記念式典が催されました。当日は、文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 上野 耕史 様をお招きし、演題「これからの技術・家庭科教育 ―学習指導要領改訂がめざすもの―」のご講演に始まり、式典へと進んでいきました。



また、当日は、本会に多大なご功績を残された12名の方に功労者賞を、36名の方に感謝状が贈呈されました。

当日ご参加いただいた功労賞受賞の方(敬称略)

田野 定男	元千葉県技術・家庭教育振興会長
福山 武夫	千葉県技術・家庭教育振興会会長
大野 伸子	元千葉県技術・家庭教育振興会副会長
菊地 和子	千葉県技術・家庭教育振興会副会長
吉原 サト	千葉県技術・家庭教育振興会副会長、長年ものづくりフェアバック部門審査を担当
上野 耕史	文部科学省教科調査官
関下 裕文	元会長、第6回関東甲信越地区中学生創造ものづくり教育フェア実行委員長
山本 嘉則	元会長、第52回全日本・関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会会長
齋藤 広子	長年にわたり中学生創造ものづくり教育フェアバック部門審査を担当

当日ご参加いただいた感謝状贈呈者の方(敬称略 五十音順)

雨宮 孝子、石野 清恵
磯野 和美、大沼 千博
大野真理子、清水 育子
鈴木 芳朗



<代表挨拶される関下 裕文様>

——木工作品展にて——

平成29年2月19日（日）～20日（月）にかけて、千葉市にある複合施設 Qiball（きぼーる）にて木工作品展（主催 千葉県木材振興協会）が開催され、113作品が展示されました。そのうち16作品に奨励賞が贈られました。



<奨励賞>

千葉市立泉谷中学校	山田 隼
市原市立湿津中学校	御園 葉月
習志野市立第二中学校	川崎 光晟
八千代市立八千代西中学校	金井 匠
船橋市立法田中学校	吉岡 憲伸
市川市立福栄中学校	惣ト 奈々香
松戸第一中学校	藤巻 舞帆
白井市立白井中学校	野口 愛桜

(敬称略)

香取市立香取中学校	鎌形 碧泉
匝瑳市立八日市場第二中学校	飯田 郁哉
大網市立大網中学校	田中 輝
一宮町立一宮中学校	林 美心
いすみ市立国吉中学校	板倉 涼真
館山市立第二中学校	吉田 琉己
君津市立周西中学校	吉原 晴輝
袖ヶ浦市立平川中学校	小国 勇輝

——編集後記——

今回は、天野会長の挨拶、全国中学生創造ものづくり教育フェア、創立70周年記念、木工作品展の作品を掲載させて頂きました。次年度も、各支部の作品展や関東・甲信越大会や全国大会に関する記事を掲載していきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科部会 広報部 千葉市立白井中学校 北島 啓行》